

1 【活動の趣旨】

学校と地域・家庭が連携して子どもたちの学びをよりよく豊かなものにするとともに、地域の人や文化、生活環境に関わることで、その良さを知り、地域の課題を見付け、解決に向けて貢献しようとする生徒たちの育成を目指す。

2 【特徴的な活動内容】

○「図書館ボランティア」

保護者や地域の方に恒常的な開館サポートと委員会への協力とともに、魅力ある図書館の運営と新旧図書の更新やお薦め本の紹介をしていただいた。

○「私たちの草津タウンウォッチング」

『共生社会』をテーマに、誰もが安心して暮らせる社会について考える学習として、車椅子バスケットボール選手の講話や関節固定サポーターと白内障体験グッズを用いた高齢者体験をした。その上で、自分たちが暮らすまちの住みやすさを共生の視点で調査し、ユニバーサルデザインマップを作成した。

○「クリーンアップ大作戦」

美化委員と生徒会執行部が中心となり、学校を出発して7つのルートに分かれて清掃活動を行った。地域の一員として美化に努め、環境を守ろうとする気持ちを実際の行動につなげられた。

3 【実施に当たっての工夫】

目的と生徒に付けたい力を見通した講師との事前打ち合わせを複数回行った。今年度は新型コロナウイルス感染症対策に重点を置いた。

4 【事業の成果】

地域の中で生き、育っていることを生徒たちが実感し、よりよいまちづくりに向けて自分たちは何ができるのかを考えることができた。

5 【事業実施上の課題】

新規事業の実施ならびに既存事業の拡大に向けては、外部の人材を学校に招いたり、密を回避したりする必要があり、昨今の新型コロナウイルス感染拡大状況から難しい面もある。



【車いすバスケットボール】



【高齢者体験】



【クリーン作戦】